

◆総 合◆

中小企業EMS取得、5月末合計は1万7,534件

中小企業EMSのエコアクション21、グリーン経営認証、KES環境マネジメントスタンダード、エコステージの認証件数等の5月末まとめは、全体で1万7,534と前月比147件増。機関別にみるとエコアクション21は前月比85件増の7,848件。交通・運輸関係中心のグリーン経営認証は新規19件、取下げ5件で14件増の4,558件。京都を中心に全国に広がるKESは全体としては44件増で4,255件。エコステージは宣言と認証組織合わせて873件と先月に比べ4件増。このところ伸びが鈍っていた認証件数は147件と昨年の4月末以来1年1カ月ぶりの3桁増となった。

◆グリーン経営認証◆

グリーン経営認証、助成制度は上手につかう

エコアクション21やKESなどの中小企業EMSへの助成制度は徐々に充実してきているが、グリーン経営認証制度もさまざまな助成制度がある。制度は、東京都では葛飾区、墨田区、中央区。神奈川県は横浜市。そのほか三重県亀山市、広島県福山市などでも行っているが自治体によってかなり扱いが異なるようだ。横浜市を見ても、補助の対象は横浜港5団体（横浜港運協会、神奈川倉庫協会、大黒ふ頭連絡協議会、本牧ふ頭会、神奈川県トラック協会海上コ

ンテナ部会)。全体で千社程度が対象で金額は75,000円。取得の新規、継続どちらでも受けられるが、1回のみ。これまでの実績は平成21,22年度はそれぞれ20社。23,24年度は10社、25年度も10社を目標に補助するという。しかし広報体制はあまりなく、5団体の総会の時に連絡してもらっている程度。また補助を得るにはグリーン経営認証の証明がなければならず、取得の際に補助が出るわけではないという。

それでは補助を知らない事業者も多そうだが、同港湾局では、グリーン経営認証が発表されると、HPで対象企業が掲載されているかどうかを確認した上で連絡し、補助しているという。効率はあまりよくなく、事後補助のため、これまで60社に助成しているもののうち40社は更新時の助成となっている。

一方もっと大規模に助成を行っているのが、各地のトラック協会だ。たとえば、東京都トラック協会は新規5万、更新3万の補助が出て、これは何度でも受けられる。ただし、同トラック協会が独自に行っているグリーンプロジェクトに参加している事業者(約600社)が対象。自治体の助成とダブル助成も可能。

なお、各地のトラック協会をまとめる全日本トラック協会も、一昨年までは運輸事業振興助成交付金制度を活用してグリーン経営認証のマニュアル等は無償で配布していたが、民主党の仕分けで認め

られなくなり、昨年からやめており、トラック関係の助成は各地のトラック協会が中心になっている。なお、(株)日本冷蔵倉庫協会も助成を行っている。

◆K E S◆

KESリフレッシュセミナー、東京、茨城、大阪でも開催

KES審査登録取得企業等の環境改善目標設定の悩みや「環境管理責任者や推進担当者の交代」による取組みの硬直化問題が表面化しはじめていることから、トップマネジャーや推進担当者を対象に昨年10月から行われていたKESのリフレッシュセミナーが好評だったため、KES協働機関のKES関東は来る7月18日(茨城)、と19日(東京)で、リフレッシュセミナーを開催する(KES環境機構共催)。京都府以外では初めての試み。セミナーの主な内容は「KESのリフレッシュについて(マネジメントシステムの構築と運用)」、「環境改善目標設定の考え方(参考:新規格による「幅を広げる」「質を高める)」」、「質疑応答とKES関東支援ツールの説明」など。茨城は定員60名、東京は50名程度。

一方大阪では8月22日に大阪KES環境機構主催でリフレッシュセミナーが行われる。詳細はKES環境機構ホームページを参照。いずれも参加費は無料。

なお、KES倶楽部が6月21日に開催を予定していた第2回KESビジネスマッチングフェアは、事情により秋に順延された。